

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.42

2022.2 月号

カンボジア孤児院

7人の子どもたちが 卒業試験に合格 & 卒園！



プーン・パー
卒業試験評価 D
将来の夢: 日本で働きたい



ルン・ソクナー
卒業試験評価 D
将来の夢: 日本語の通訳



リアッ・ピーヴィー
卒業試験評価 C
将来の夢: IT 技術開発



プーン・ポー
卒業試験評価 D
将来の夢: 会計士



ユン・サイハー
卒業試験評価 C
将来の夢: 電機関係の仕事



プーン・ピー
卒業試験評価 D
将来の夢: 日本で働きたい



ユン・サイハーン
卒業試験評価 D
将来の夢: 電機関係の仕事

高校卒業試験結果が報告ありました。
孤児院の卒園生7名全員合格でした。
今までになかった嬉しい結果となりました。
評価も全員D以上でしたのでSAJ奨学金貸与基準を満たしました！全員大学へ進学した際には奨学金貸与できます。
本当によく頑張りました。
これから大学や社会に出てからも7人には孤児院で学んだことを忘れずに、
元気に、夢をもって生活を送ってほしいです。



支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



SAJ サークルの皆さまとオンラインクリスマス会

今年も、ひらがなビンゴゲームや〇×ゲームで大盛り上がりしました。また、沢山のクリスマスプレゼントやケーキをいただき、子どもたちの大喜びで幸せなひと時を過ごすことができました。高校3年生には手作りのブレスレッドをいただき、感激していました。

夢手帳 リニューアル！

好みの色(黒、エンジ、青)が選べる冊子版となってリニューアルしました！
小学6年生以上と職員全員に配布し、この手帳を使って、夢実現までのプロセスを理解し、計画性を持った思考行動が出来るようになってもらいたいです！



学校運営（バングラデシュ）【NDMSC】

アートデーの実施

バングラデシュでの一般的な学校は、芸術教科の授業では講義のみで実技はありません。

本校では、現地教員の提案により「絵画・詩・音楽」の芸術に関する実技を集中的に全校で実施する日を設けました。全校で取り組むアートデー 2日間は、生徒にとってとても有意義な時間になりました。



出張報告 2 佐藤事務局長が約2年ぶりにカンボジアに出張に行ってきました！

前回はお米支援やふれあい支援、学校建設などについてお話をさせていただきましたが、今回は孤児院の様子について報告いたします。

コロナ禍では毎週1回オンライン会議を行い孤児院との情報共有をしていますが、現地職員の言葉や会計資料、写真、動画だけでは限界がありました。実際に孤児院に行くと、オンラインでは気づけない細かい箇所や雰囲気、環境などが明瞭になりました。全体として孤児院にはまだまだ改善の余地がありますが、確実に良くなっているという状況です。

この2年間で孤児院の中で大きく変わった点といえば、やはり日本語教育を始めたことだと思います。孤児院職員が子どもたちに日本語を教え、卒業までにはN5を取れるようにと目標にしています。今年度は3人が取得いたしました。本当に嬉しい限りです。

他に支援者様と子どもたちがオンラインで繋がれるようになったことも、この2年間での功績です。

しかし課題はまだまだ山積みです。

特に服装や衛生面は大きな問題です。たくさんの衣服を寄附し

ていただき、現地に輸送していますが、いまだにボロボロに破れた服や身体に合っていない服を着ている子どもが多く、意識の低さが表れていました。

また、職員の子どもたちへの気配り意識の低さを実感しました。特に気にかけて愛情を注ぐべき小さい子たちへ、話を聞き、ほめてあげることが少ないと感じました。全職員に子どもたちにもっと気を配ることの徹底をしていきます。

一つずつこのような問題点を日本事務局、プノンペン事務所、そして何より孤児院で連携を取り合い解決していきたいと考えております。

ぜひコロナが明けたら、孤児院に遊びに来てみてください。これからもSAJをよろしくお願いいたします！



孤児院の子どもたちと遠足

「夢追う子どもたちの家」の生活

孤児院の高校 1 年生を紹介します。 ホー・ソプウン

(フンセン・クラコー高校 1 年生 17 歳)

今年の 1 月から高校 1 年生になりました。園内にはソプウン以外に同じ学年(高 1)の子どもはいません。そう聞くと「淋しい」と思われるかも知れませんが、そんなことはありません！ソプウンの周りには、いつも友だちがいます。ソプウンは気持ちも態度も穏やかなので上級生からも下級生からも慕われています。そして、何をするにも真面目に一生懸命取り組む姿勢は子どもたちの模範であり、だから自然と仲間が集まってくるのです。昨年は「子ども副代表」にも選ばれました。勉強も努力家で、昨年はコロナで学校へ通えない中、園内で一人黙々と自主勉強をしており、誰もが感心していました。その甲斐あって、中学校の卒業試験では最も成績の高い「優」を獲得することができました。ソプウンの夢は「中学校の数学の先生」になることです。彼女ならきっと、その「夢」が叶えられると期待しています！がんばれ！ソプウン！



弟のイーと作業するソプウン



孤児院からの報告

新入園児報告 ペイチ・ピサイ 14歳 女子 中学 1 年生

母親の再婚相手に小学 5 年生から虐待を受けており、そのことを母親と祖母に話してはいけないと口止めされた生活を 2 年間送っていました。そして母親と祖母が死去したことで継父からの虐待が明るみになり、彼女は保護をされ、やっとその地獄のような日々から解放されました。村長からは以前のピサイは勉強も出来て、心の優しい子どもだった。これからは好きな勉強をさせてあげて、将来に希望を持って生きて行ってほしいと言っていました。本人は「将来、お医者さんになって人の役に立ちたい。小さい子どもも好きだし、農作業も大好きです」と答えてくれました。彼女には安心して安全な生活を取り戻してもらい、将来の夢を追い求めることが出来る人間になってほしいと思います。



理事評議員会の報告

《構成メンバー》

- 代表理事：渡邊美樹
- 理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮
- 業務執行理事：青木茂雄
- 評議員：大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美
- 監事：片山進平、清野貴彦

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

第 223 回理事評議委員会が 2021 年 1 月 31 日にオンラインにて開催されました。

〔報告事項〕

- 報告 1：孤児院 近況報告
- 報告 2：プノンペン事務所報告
- 報告 3：バングラデシュ報告
- 報告 4：会計報告

〔決議事項〕

- 議案 1：2021 年度建設校 4 校の検討と承認
- 議案 2：SAJ 新体制に関する検討と承認
(報告：卒業試験結果・日本語検定試験結果について)
- 議案 3：2022 年度事業計画大方針について検討と承認

カンボジアからとても嬉しい報告がありました。12月に行われた日本語検定試験の合格発表があり、孤児院から3名が日本語検定5級に合格したのです。

孤児院の子どもたちに日本語力を身につけさせようと、孤児院内で日本語教育を導入したのは今からちょうど2年前のことです。孤児院の日本人スタッフは教壇に立った経験ありませんでしたが、様々な教科書や問題集を参考にしながら、独学でカリキュラムを作り上げました。コロナ禍で学校が休校になったこともあり、子どもたちは毎日孤児院で日本語を勉強しました。

そんな中、毎月行われる日本語テストで頭角を現した子がいました。現在、高校3年生になったばかりのタン・ヴィセツです。ヴィセツは中学生の時、勉強が苦手で、授業中に学校を抜け出して叱られることも一度や二度ではありませんでした。そんなヴィセツが高校1年生になったのと同時に始まった日本語教育。その理解度確認テストでヴィセツは毎月1位の成績を取り続けたのです。そして、日本語検定試験では180点満点中80点が合格ラインのところ、159点というハイスコアで合格を勝ち取りました。

私が夢教育を推進する中で辿り着いた“夢の方程式”は、「遺伝(得意なこと)×意志(好きなこと)×夢×運」。ヴィセツはまさに、日本語教育に出会ったことで「得意なこと」と「好きなこと」を見つけたのです。彼の夢は“建築エンジニア”です。日本語力を生かして日本の建設会社に就職し、日本で技術を習得してから母国に戻り、カンボジアの街づくりや地域づくりに貢献する。そんな日がくるのも、そう遠くないのかもしれませんが。孤児院の建物は現在、築14年。20年後、建て替えが必要になったときに、ヴィセツが設計・施工管理してくれたらと思うと、とてもワクワクします。



タン・ヴィセツ

寄附募集

お米支援
(食糧支援寄附)

ふれあい
サポーター募集

コロナの影響で仕事がなく失業者が増加し、貧困家庭も増加しています。お米・ふれあいサポートの支援がなければ学校に通えない子どもたちが増えていきます。お米支援(食糧支援寄附)していただける方や、ふれあいサポーターになって“子どもたちの学習の機会を守っていききたい”と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

※ふれあいサポートに関しましては、会員に加入が必要となります。あらかじめご了承ください。
※ご不明な点、ご質問等ございましたらお気軽にSAJ事務局にご連絡ください。

ご支援いただいた寄附

2021年

12月の寄附金合計 7,845,313円

(内訳) 会員会費	1,799,650円
一般寄附	336,148円
指定寄附	5,729,515円

募金箱回収 ありがとうございます

2021年12月募金箱回収

□(株)富士葬祭

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略)
※法人名、団体名は2021年4月現在のものです。
募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

物品寄附



現在、輸送が遅れていますがカンボジアの子どもたちに送り届けます！

現在、孤児院ではノートパソコン及びスマートフォンが不足しております。リモートによる授業やzoomによるコミュニケーションが増えたからです。昔使用していたものや、新しく買い替えようと思っている方がいらっしゃいましたらよろしくお願いします！

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2020年度)



32億

448万1,028円

現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数
(2021年3月現在)



100,943人

SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計
(2006年度～2020年度)



12,312人

建設した学校の合計
(2001年度～2020年度)



318校

ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計
(2003年度～2020年度)



16,346人

SAJの建設した学校で朝食を支給された児童数の累計
(2006年度～2020年度)



125,879人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

●学校建設寄附(1)一口寄附(一口100,000円)、(2)一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
●食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)
●孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(パングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。